

## 公開シンポジウム

主 催：公益社団法人日本木材保存協会

後 援：林野庁，一般社団法人日本木材学会，公益社団法人日本木材加工技術協会

日 時：平成28年5月25日(水) 14：20～16：45

会 場：メルパルク東京5階「瑞雲」

東京都港区芝公園2-5-20 電話 03-3433-7212

内 容：公共建築物や住宅への木材利用が進むなか，耐久性，安全性，居住性，省エネ性などを向上させるため，高度な技術が求められています。木造建築物の耐久性向上を図るためには，製材，集成材，合板，直行集成板（CLT）などの建築部材に対して，木材保存剤による適切な処理が必要となります。本公開シンポジウムは32回目を迎えた年次大会の中で開催され，「木材保存剤の変遷と分析の最前線」と題して，講演会と討論会を開催します。

〈テーマ〉

「木材保存剤の変遷と分析の最前線」

コーディネータ：山本幸一（(研) 森林総合研究所）

〈講演〉

1. 土居修一（筑波大元教授）

「木材保存剤の変遷と今後の有り方

－木造住宅の基準・仕様書・工法などのかかわりで－」

2. 桃原郁夫（(研) 森林総合研究所）

「木材保存剤の長期安定性評価に向けた取組」

3. 宮内輝久（(地独) 北海道立総合研究機構林産試験場）

「木材保存剤の定量分析方法の効率化・高精度化に向けた取組み」

〈パネルディスカッション〉

司会：山本幸一

パネリスト：土居修一，桃原郁夫，宮内輝久

公開シンポジウムは無料です。

閉会挨拶：年次大会運営委員会委員長 片岡 厚